

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

1項 総務管理費

関西本部（電話：06-6341-3955）

9目 県外事務所費<地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
関西圏販路開拓推進事業	15,304	15,068	236			<譲入> 46	15,258	

トータルコスト 41,816千円 (前年度25,800千円)

従事する職員数 正職員：3.2人、非常勤職員：2.0人

主な業務内容 鳥取県産品に係る市場調査、商談、情報発信、企画調整など

説明

1 事業の概要

関西地区における県産物（農林水産物、物産、工芸品等）の販売促進、販路拡大を図ろうとする県内団体等の支援を行うために要する経費

2 主な事業内容

(単位：千円)

項目	金額	概要
関西における食品流通に関する情報発信	1,922	販売概要作成。販路開拓DB作成。県内機関からの調査対応。
食のみやこ鳥取県に関する情報発信・販路拡大（消費地向け）	2,387	食農教育活動。食べ方講習会。食品展示会等でのPR。鳥取県フェア（外食、量販店）
民工芸品に関する情報発信・販路拡大	1,060	民工芸品展示会の開催。関西圏ギャラリー等への売り込み
消費地からの情報フィードバック	269	小売店毎に対象者を限定して新商品モニタリング
販路開拓マネージャー活動経費	9,666	量販、外食、卸業等への鳥取産物売り込み（2名体制）
合計	15,304	

3 21年度拡充・重点内容

(1) 食農教育活動の強化

- 「食」をキーワードとした、将来の鳥取ファンの確保
 - 量販店舗とのタイアップで、店舗会場での対消費者PR活動（阪急西宮ガーデン他）
 - 小学生以下に「美味しい食材」「正しい食べ方」を継続的に伝える。
（京都市教育委員会。高槻市教育委員会等）
- 将来の消費者（子供）を含む関西圏消費者への「食のみやこ鳥取県」イメージすり込み。

(2) 県内機関の将来ビジョンの気運と、グレーター近畿からの引き合いのマッチング

- 県内組織による県内の生産力強化と並行して、関西での販路拡大も強化
- 平成19年約20件の売り込み件数が、食博等の影響等から倍増が予想。

(3) 自動車道開通プレ告知による攻めの販路開拓

- 開通前からの攻めの販路開拓を展開
- 関西圏の食料庫としてのPR拡大
- 時間距離の短縮により、準近郊産物としてのPRが可能など、メリットをPR